



三浦半島 立石海岸(神奈川県横須賀市)

1000年の歴史を秘めた絶景—— 海の彼方に富士が浮かぶ 立石の海岸

鶴見 辰吾
つるみ しんご
俳優・サイクリスト



1964年生まれ。東京都出身。77年TVドラマ『竹の子すくすく』でデビュー。『3年B組金八先生』や『高校聖夫婦』などの話題作で注目を集める。その後も映画、ドラマ、舞台と幅広く活躍。近年では『天地人』『官僚達の夏』『チーム・バチスタの栄光』などに出演。また、無類のロードバイク好きと知られ、自身で「LEGON」というチームを発足し、レースなどにも精力的に出場している。

最近では自転車通といわれますが、最初はサイクリング程度、それが200kmクラスのロングライドになり、最近ではレースにも出るようになりました。好きなコースは横浜の自宅を出て、都心のみなとみらい地区から山下公園、磯子、金沢八景へ、横須賀から観音崎、城ヶ島、立石海岸に至るコースですね。

立石海岸には、青い海、白波が押し寄せる大小の岩礁、枝振りの美しい松、そして相模湾の向こうに雪をかぶった富士山、まさにフルコースの絶景が広がります。とくに夕映えの情景は言葉にならないほど感動的です。偶然が重なり合って自然が素晴らしい風景を見せてくれる、それが好きなんです。たとえ天気が悪くてもそれはそれとちゃんと額縁に収まるんですね。いつもここで一緒に走った自転車仲間と乾杯となります。

ここは昔の東海道で、古代から鎌倉時代にかけて、安房国と相模国を結ぶ重要な交

通路だったとされています。私は以前NHKの大河ドラマ「義経」に平宗盛役で出演し、京都から鎌倉までの歴史のある場所を、その役柄になって感慨深く見ることができましたが、ここ立石も昔から住む人々が行き交う人々が、親しみ讃えてきた風景だと思ふとロマンが溢れてきます。

この海岸沿いの国道134号線は、魅力ある風景が次々と展開されて、自転車乗りとしてはまさに興味深いルートなんです。立石のすぐ近くに長者ヶ崎、続いて葉山の御用邸や県立近代美術館葉山館が現われ、そして真名瀬や森戸など、いまでも懐かしい赤い郵便ポストが似合う漁港のまちなみが連なっていたり、またヨットの帆柱が林立し、真っ白なボートが行き交う葉山マリナーや逗子マリナーなど、南仏コートダジュールを思わせる西歐的なリゾートの風景が現われたりします。自転車で駆け抜けるには絶好の道だと思えますね。私の一番のおすすめルートです。

(談)



葉山の風景(神奈川県三浦郡葉山町)
絵: 平野 敬則